

静岡県立浜松西高等学校創立100周年記念企画

浜松西高OBによるメッセージ

AMANO Hiroshi

天野 浩

名古屋大学大学院工学研究科単位修得退学。2015年より名古屋大学未来材料・システム研究所未来エレクトロニクス集積研究センター センター長・教授。2014年、赤崎勇博士、中村修二博士と共にノーベル物理学賞受賞

高31回卒

HIRUMA Akira

晝馬 明

米国ニュージャージー州立ラトガース大学コンピュータ・サイエンス専攻卒業。1984年浜松ホトニクス株式会社入社。2009年同社社長。2022年同社会長

高27回卒

MIMURO Kenichiro

御室 健一郎

成蹊大学政治経済学部卒業。2005年浜松信用金庫理事長。2021年より浜松いわた信用金庫会長。前全国信用金庫協会会長。元浜松商工会議所会頭。前浜松西高校同窓会会長

高16回卒

AOKI Yoshiharu

青木 善治

法政大学経済学部卒業。1980年社会福祉法人聖隷福祉事業団入職。2008年理事・常務執行役員就任。2021年より理事長

高28回卒

高23回卒

SAITO Kaoru

斉藤 薫 (浜松西高校同窓会会長)

明治大学商学部卒業。1976年遠州鉄道株式会社入社。2013年同社社長、2022年同社会長。2024年同社相談役。浜松商工会議所会頭

高29回卒

SUZUKI Toshihiro

鈴木 俊宏 (浜松西高校後援会会長)

東京理科大学工学部機械工学科卒業。同大学院修士。日本電装株式会社(現デンソー)を経てスズキ株式会社入社。2015年より同社社長

遠州鉄道株式会社相談役 / 浜松商工会議所会頭 斉藤 薫

進学で都会に出ても地元に戻り、
地元で活躍してほしい。

浜松は海も山も川も湖もあって、自然豊かで非常に良いところだと思います。アサリ採りや山芋掘りなど何でもしました。しかし、本当に豊かな地域だとわかったのは、大学を卒業し東京から戻ってからのことです。

浜松を中心とした西部地区には、産業でも医療・福祉でも、志があれば最先端に触れることができます。若い人たちにはこの地にスグレモノがあることを知ってほしい。世界に冠たる会社がたくさんあるので、高みを目指して頑張ってほしいと思います。

交通の便と自然環境に恵まれ、食材も豊富な遠州地域は、インバウンドの観光面から見ても可能性ががあります。何が海外の人たちに響くのか、それをどう知らしめ、どう集客するかという課題があります。企画力や実践力など若い人たちに期待する場は多いと思います。進学で都会へ出る人も多いでしょう。でも、グローバルは浜松にあります。ぜひ、卒業後は故郷へ戻り、地元企業に就職してください。

名古屋大学教授 天野 浩

生成AIが普及し世の中が進化しても
「自分が主役になる」という気持ちを!

大学に進む学生を見て思うのは、やりたいことが見つからない、だから大学に入って見つけろという人が多いですね。ですが、私は「自分が主役になるんだ」という気持ちを持ってもらいたいと思います。世の中は進化し、生成AIも普及していくでしょう。だからこそ、一人一人が主役なんだという意識を持っていただきたい。

名古屋大学では、アメリカやヨーロッパの大学と連携し、頭脳循環で日本から海外へ行き、向こうからも来てもらい、一緒に研究を進めています。それから、インドの方に来てもらって共同研究を進めているのですが、すごく頭がいい。そういった連携や共同研究が日本の学生にも良い刺激になっていると思います。

私は興味だけで研究に取り組んでいたのですが、その研究をすることによって社会がどう変わるかということを理解し、社会との関わりを意識することが大事です。いまの中高生たちの中から将来ノーベル賞を取る研究者が生まれるかもしれません。

浜松ホトニクス株式会社会長 晝馬 明

若者のスタートアップ精神を
地域ぐるみで支援する仕組みが大事。

もっと、世界の大学を目指す人たちが出てきてほしいと願っています。やはり日本の中だけでの競争ではなく、世界と競争できる人になってほしいですね。さらに、女性のエンジニアがもっとたくさん生まれてほしい。そうなることで、日本の力は高まると思っています。

また、若い人たちを見ていて「安定した会社だから入ろう」という考え方があることを残念に感じています。それは安定志向ですね。失敗を恐れず、自分で会社を起こすといった人たちがどんどん出てきてほしい。スタートアップの精神を持ってほしいと思います。しかし、若者だけに押し付けてもダメなんです。当社では「社内ベンチャー」という組織を立ち上げて、仲間を集めて起業することを支援しています。そうした経験は役立ちますから。一企業だけではなく、若い人たちのスタートアップを途切れなく支援する組織づくりや体制づくりを地域トータルでしていかなければいけないと思っています。

浜松いわた信用金庫会長 御室 健一郎

若いときに学んだことは
生きていく上で精神的支柱となる。

私は佐久間の田舎育ちでしたから、子どもの頃は浜松がものすごく都会に感じました。いま振り返ると、西高時代に先生から教えていただいたことや交流関係というのがバックボーンになって、現在の自分があるという感じがいたしますね。「知・仁・勇」という校訓がありますが、とても大事な言葉で、われわれが生きていく上で、あるいは会社を営んでいく上でも精神的支柱になったと感じています。

ですから、若いときに一人の人間として何を学び、どういった基本的な考えを持つかということが大事ですね。少子高齢化が進み、海外に進出する企業も多くありますが、遠州には埋もれている宝がまだまだたくさんあります。優れた起業家を数多く輩出してきたこの地域特有の「やらまいか精神」にあふれた若者たちが活躍できるよう、教育機関も私たち先輩たちも応援し、きりと光る技術を持つ新しい産業を創出し、育てる仕組みが必要だと思います。

スズキ株式会社代表取締役社長 鈴木 俊宏

失敗を恐れず、失敗から学び
直接世界へ発信しよう。

私どもの会社だけでなく浜松には世界的な企業が多くありますが、やはりグローバルな視点から自分の生き方を考える時代だと感じています。世の中の人を何を望んでいるのかということ突き詰め、自分の特徴を仕事に生かしていく。そのためには「失敗を恐れるな」と言いたいですね。今は、みんな横並びで失敗するとダメだとか人と違うことをするといけないと言われる世の中になっています。でも実際は、成功から学ぶことよりも失敗から学ぶことが多いのです。痛い思いをして、防衛本能を身に付けつつ成長の糧にしてほしい。

これからは、インド人であろうがアメリカ人であろうがヨーロッパ人であろうが、ぐしゃぐしゃになって良いところを学び合っていく時代ではないかと思います。次世代の若者には、ものづくりの産業に携わっている立場から言いますと、ここでものを作り上げ、いろいろなものや情報をここから直接世界に発信できる地域に育ててほしいと願っています。

社会福祉法人聖隷福祉事業団理事長 青木 善治

医療・福祉で恵まれた浜松!
地域全体を視て、さらに一歩先へ。

浜松は、医療・福祉という点でとても恵まれていると思います。約50年前、救急医療の体制づくりが全国に先駆けて行われましたが、それは非常に画期的で先進的なことでありました。医療においても「やらまいか精神」が息づいており、私は素晴らしいことだと思っています。浜松市は全国の大都市において、健康寿命のトップクラスを維持しています。これは医療体制が充実していることだけでなく、何ごとにも積極的に参加する「やらまいか精神」があり、高齢になっても社会参加できるという点も影響していると思います。また、福祉においても民間に活力があり、充実しています。

医療・福祉の体制が整っている浜松地域に、若い方たちもぜひ戻ってきてほしい。そして、地域への貢献も考える人になってもらい、地域貢献を通して、社会全体への貢献を目指してほしいと思います。

世の中は著しく変化しています。変化とともに変わることも大切ですが、多少のリスクを冒してでもチャレンジし、さらに一歩先をゆく地域にしていきたいです。

- 静岡県立浜松西高等学校創立100周年記念誌の発行
浜松西高が誇る本紙面のOBによる座談会の様子は、2025年1月発行予定の「静岡県立浜松西高等学校創立100周年記念誌」に掲載します。
- 静岡県立浜松西高等学校創立100周年記念式典の開催
2024年11月14日(木) アクトシティ浜松ホールにて、静岡県立浜松西高等学校創立100周年記念式典を開催。当日の様子は、静岡県立浜松西高等学校創立100周年記念サイトで紹介する予定です。



《静岡県立浜松西高等学校創立100周年記念事業》
■浜松西高海外フィールドスタディ基金創設事業
■新・スクールソング制作事業
■記念式典開催事業
■OBによる記念対談事業
■記念ウェブサイトの制作

寄付金
募集中!

静岡県立浜松西高等学校創立100周年記念事業実行委員会

[100周年事業に関するお問い合わせ]

浜松西高同窓会事務局 Tel.053-456-0662 (火曜日 9:00~12:00) / Mail.hama24@hamanishi.org

